

緑のある風景は、私たちの心に安らぎと潤いを与えてくれます。そこで、市でも、緑がまちにあふれ、緑を大切にする心を育てていただこうと、毎年春と秋に「青空緑化教室」を開き、緑化

に関する指導と相談を行っています。今号では、さる五月二十六日に市民会館前で行われた教室での質疑応答を取扱ってあります。

質問 沈丁花を移植した花は枯れてしましました。原因は何でしょうか。

回答 沈丁花は細根の出方が少ないで、根を痛めないうよ、丁寧に植えかえてください。酸性土壌では立ち枯れを起こし易く、冬季に表土が凍結すると根腐れを起します。また砂地では異常乾燥により、生育が悪くなります。午後は、日陰になる場所の方に生育に適しています。

芽が出る前の早春に、石灰硫黄合剤七十倍液(水十加に〇・一四%)を散布し、その後、一週間おきに三回くらいベンレート水和剤の五百倍液(水十加に六・五%)を散布してください。

* * * *



庭木の防除方法は?

一青空緑化教室での質疑応答から

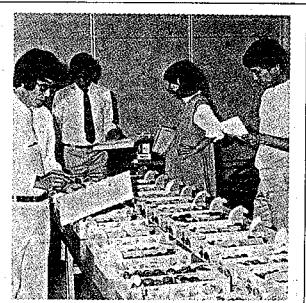
ツツジの刈り込みは六月中に

質問 ツツジの葉が、厚くふくれあがつたようになります。どうしたらよいのでしょうか。

回答 モチ病です。これは、

芽が出る前の早春に、石灰硫黄合剤七十倍液(水十加に〇・一四%)を散布し、その後、一週間おきに三回くらいベンレート水和剤の五百倍液(水十加に六・五%)を散布してください。

* * * *



いちご品評会

最優秀賞に森山さん

さきごろ、いちごの品評会が行われ、農家の皆さんが丹精込めた約40点のいちごが出品されました。甲乙つけがたいできばえに、審査員は頭を悩まされていましたが、次の方が入賞されました(敬称略)。

- 最優秀賞…森山淳司(小屋場)
- 優秀賞…西済健次(小屋場)、森山繁於(小屋場) ● 優良賞…森山伝蔵(小屋場)、鈴木悦作(梅ノ木)
- 努力賞…高橋昇(小屋場)、土屋健一(小屋場)、古川三郎(小屋場)、川島真一(栗宮)

質問 松の剪定時期と方法を教えてください。

回答 黒松のみどり摘みは、五月と九月の年二回行うのが標準ですが、この辺では、剪定を兼ねて行い、お盆前には終わるようにしてください。ただし、赤松や五葉松は五月～六月に行つてください。

質問 菊の芽先が枯れてましまった。どうしたらよいのでしょうか。

回答 キクスイカミキリが、茎に咬み傷をつけたためです。

質問 樹勢が強すぎると花しづを忘れずに

回答 樹勢が強すぎると花しづを忘れることがあります。ただし、赤松や五葉松は五月～六月に行つてください。

質問 菊の芽先が枯れてしましました。原因は何でしょうか。

回答 キクスイカミキリが、茎に咬み傷をつけたためです。

質問 菊の芽先が枯れてしましました。どうしたらよいのでしょうか。

回答 キクスイカミキリが、茎に咬み傷をつけたためです。

成虫が発生する五月～六月にスミチオノ乳剤千倍液を散布してください。

* * *

庭松の剪定は七月から八月に

質問 松の剪定時期と方法を教えてください。

回答 黒松のみどり摘みは、五月と九月の年二回行うのが標準ですが、この辺では、剪定を兼ねて行い、お盆前には終わるようにしてください。ただし、赤松や五葉松は五月～六月に行つてください。

お買物、ご用命は市内で

護身と長寿若返りの妙技

小学四年以上の男女百歳でも少々体の不自由な方でも大丈夫
勇気と自信と健康を求められよ
週1回くらいいが最適
水・金夜7時～9時まで
日曜日午後2時～4時まで



やわら柔術道場

新津市結(バス停前)
自宅通路所
五泉道場
緑町
道場食堂
吉善原
峰乃工
院屋内
☎ 24-0470
☎ 22-1058
☎ 42-0336



緑あふれるまちづくり

花と緑の会で会員を募集中

リーンセンター(24-1746)へお申し込みください。

花と緑の会が進める主な活動内容

花と緑の会で会員を募集中

潤いと安らぎのある、花と緑の豊かな、住みよいまちづくりを進めます。市では、次のように生垣コンクリートを行います。

□ 生垣：植栽後一年以上経過したもので、総延長は五㍍以上(生垣は、良好管理され、公道から全

□ 参加対象：市民または

□ 参加料：五百円を添付のうえ、八月三十日

花と緑の会で会員を募集中

のとします。規模や樹種は問いませんが、ビヤク

申込書(写真を一枚以上

添付)を、八月三十日

花と緑の会で会員を募集中

のとします。規模や樹種

は問いませんが、ビヤク

申込書(写真を一枚以上

花と緑の会で会員を募集中

のとします。規模や樹種